教養教育センター　マンスリーコラム　vol. 8
2023 / 09 / 01

教養ゼミ「まち歩き」で社会を知り「まちづくり」へ

小林 一也（形状処理・情報科学）

「教養ゼミ」は本学の誇る少人数教育を体現する授業で，工学部の新入生十余名に教養教育センターの教員１名が付き，１年間にわたり各教員のテーマに沿って活動します，私のゼミでは「地域協働授業」として，射水キャンパスの周辺をフィールドとして，まちに出て，まちを知り，まちと関わることを実践します，その真のテーマは「まちづくり」の担い手になることです．

さて，工学部の卒業生の多くは，企業などで「ものづくり」に携わることが期待されています．ここで，「もの」とは広く「人工物」の意で，物質としての製品だけでなくソフトウェアやサービスなど手に取れない実体も含みます．新しい「もの」を生み出すことは産業を活性化し，より豊かで持続可能な社会を支えるために重要なことです．しかしながら，それだけが「人生」なのだろうか，と私は考えます．

工学部を卒業して社会に出て，新しい技術を生み出し，効率的な生産方法を考案し，人々のニーズに合う製品やサービスを提供し，それを生活の糧とするのは工学者・技術者として大きな「喜び」ですが，それは「人生」の有限の時間の一部，１日８時間，年間２２０日ほどの労働時間からすると，２割に過ぎません．２２歳から６５歳まで４４年ほど働き，仮に８８歳まで生きるとするなら，労働年数は人生の半分ほど，時間にするとわずか１割です．残りの９割の時間には，仕事の準備や後始末や憂さ晴らしの飲み会も含まれるでしょうが，多く見積もっても８割の時間は，仕事とは直接関係のない睡眠・食事・家族時間・趣味・社会活動・ぼーっとする時間などなどが占めています．つまり「暮らし」が人生の８割を彩っているわけで，そこにこそ生きることの「喜び」や「哀しみ」などが詰め込まれていると考えます．

何を当たり前のことを語っておるのだ，と思われるでしょう．しかし，その当たり前に無頓着になり過ぎていませんか，暮らしが詰まらなければ生き甲斐がないでしょう，頑張って稼いでもその労苦は人生の喜びと釣り合っていますか，と問いたいのです．社会に出ていない学生にはどうでもよい話かも知れません．４５年前の自分だったら，爺さんのワケわからん話ウザっ（そんな表現は当時なかった）と思ったはずです．

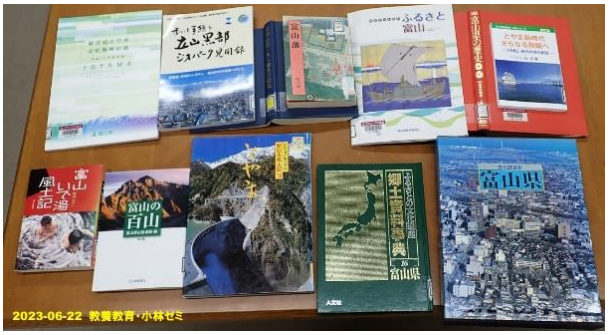
前置きが長くなりましたが，人生の大半を占める「暮らし」に目を向けてもらうために，その基盤である「まち」（都会とは限らず人々が集まって暮らすところを平仮名で“まち”と書くことにしています）を知ることで，職業以外での社会への関わりをもってほしいと考えます．幸いにして射水キャンパスは都会でも田舎でもない郊外で，約６千年前の縄文海進で潟湖だった射水平野を一望する台地の突端にある興味深い地形や，キャンパス最寄りの小杉駅の北側一帯の「小杉旧町」には北國街道沿いで栄えた宿場町として文化の集積もあります．そこで，木曜日午後のゼミの９０分間でキャンパス周辺を「まち歩き」し，地理・地形・郷土史などの話をして，社会への興味をより高めてもらおうとしています．また，ただ歩くだけでなく，FMいみず・藤岡園・竹内源造記念館などに立ち寄り，地元の方々と話す機会も設けています．

少子高齢化で縮小する社会を背景に「まちづくり」という言葉が使われますが，寂れたまちに再び賑わいを取り戻す意味のようです．人口流出が続く地方で，「子育て罰」と表現されるような出生減を促す制度下で賑わいを取り戻すのは絶望的です．見た目の賑わいよりも，生まれ育った地元や新たに暮らす地域に興味をもち，「まち」の楽しさを再発見し，より良いものに変えていく気持ちをもつこと，心の中に社会への興味をもち続けることが意味のある「まちづくり」と考えます．私のゼミでは「まちづくり」のココロを育むことをめざします．（子どもたちとXマスパーティー・古写真プロジェクト・公共交通については，またいずれ…）

2023年前期の「まち歩き」から

まち歩きは射水キャンパス北側を台地に沿って流れる用水路から始まる．少し先に「滝」もある．位置エネルギーが熱と音に変わるが，仮に発電したら何Wだろう？ と理系的な問いを立てるのも恒例．

キャンパスの東，黒河地区の県道9号線沿いには創業百数十年の茶舗「藤岡園」がある．近くの小道をたどると森と畑に囲まれた「田園風景」が出現し，ため池も点在．竹林の利用と竹害についても話す．



町内の「太閤山公園」には土俵があり，進軍してきた太閤秀吉が将兵を慰労した相撲にちなんだ地名であると話す．まち歩きしづらい雨天は，図書館で富山に関する図書をざっと読み，感想を話してもらう．

歩くだけでなく，射水市内のさまざまな施設にお邪魔して，見学し色々とお話を伺う日もある．右の写真は射水キャンパス斜め向かいのパスコ2階の放送局「FMいみず」（79.3MHz）．この他，鏝絵の竹内源造記念館，小杉旧町，射水市新湊博物館，などを訪問する．